

♠本日卓話 地区青少年奉仕部門委員長  
栗原 偉憲 様



1. 自己紹介

1964年11月生まれ 57歳  
ロータリー歴17年 地区歴14年  
職業 会社経営者 (株)栗原建設工業

2. 現在の2770地区状況

9部門 21小委員長 委員110人  
ガバナー補佐12人  
地区幹事・副幹事 22人(11人) 計165人

3. 現活動(青少年奉仕部門)



◆全体目標  
・年に3回の全体会議を行う  
・すべての委員会においてペーパーレス化を推進する  
・欠席する委員をなくす

◆インターアクト委員会  
・「インターナショナル」と「アクション」を組み合わせたもの  
・12~18歳の中学・高校生

課題  
・韓国との関係

◆青少年交換委員会  
・15歳から19歳迄の交換留学(1年間)  
・国際理解と親善の大切さ  
・交換学生とロータリアンとの奉仕  
・青少年交換委員長の任期を世界中で3年とする

課題  
・委員会組織改革(幹事の廃止) 副委員長・完全ペーパーレス化  
・3年できる青少年交換委員長(委員)の育成

◆ローターアクト委員会  
・「ロータリー」と(若い成人のクラブ)「アクション」を組み合わせたもの

18歳以上の若者・リーダーシップと奉仕活動を学ぶ場  
・地元でボランティア活動  
課題  
・2022年7月からのRI人頭分担金(MY ROTARY 登録)  
・地区ローターアクト委員会の役割  
・アクト会員とロータリー・アクトとスポンサークラブ

◆RYLA委員会  
・リーダーシップ養成プログラム  
・ロータリアン企業の新卒社員

課題  
・研修生にロータリー教える  
・3回の研修でどんな効果を出すのか

4. 未来のロータリー

- ・これからのロータリーとして何故二つの道とは?  
①会員減少止まらない(アメリカでの減少が要因)  
②大胆な改革をしなければ生き残れない  
③TRFは世界慈善団体チャリティーナビゲーター  
4つ星という最高評価を落とす訳にはいかない
- ・ロータリーの未来形成計画  
2011年事務総長就任(当初任期は3年)を2026年6月まで延長する

・ロータリーのフラット化

*世界は絶えず変化しているそして私たちは何度も何度もロータリーの物語を書き換えなければならない(ポールハリス)*

5. まとめ

- ・人が幸せを感じる時、それは人の為に役立った時、その機会が多いのがロータリー  
*青少年にも同じ機会と想いを共有願います*



Thank you

第2144回 5月17日~19日 “親睦旅行例会”

~道後温泉・四万十川・足摺岬2泊3日の旅~



天気にも恵まれ良い旅行となりましたでしょうか  
森田会員“旅の友”をありがとうございました